

民生委員・児童委員協議会 夏期研修 実施概要

【日時】2023年7月26日（水）14時～16時

【会場】日野煉瓦ホール2階 小ホール

【テーマ】子どもの貧困対策について

【子どもの貧困を今回の夏期研修テーマとした経緯】

「第2期日野市子どもの貧困対策に関する基本方針」の中では、「民生委員・児童委員の活動支援及び行政との連携」の取組を、子育てに関する親の精神的な不安の緩和のための事業・施策のひとつとして位置づけている。そのため、当該基本方針の概要については、令和5年3月に民生委員・児童委員の各地区会長及び副会長に説明を行った。

その後、民生委員・児童委員から、子どもの貧困に関する市の現状や取組みについてもっと詳しく知りたいという声があがったため、今回の夏期研修のテーマとして設定をした。

【研修内容の構成】

<第1部>子どもの貧困の状況、市の対策の説明（30分）：大枠の把握をしてもらう

⇒日野市セーフティネットコールセンター地下副主幹より、子どもの貧困について、日野市の現状や取組みを簡単に説明。

※この後のパネルディスカッションなどの具体的な事案への足掛かり的な位置付け。

※日野市の現状（調査の数値、基本方針を策定していること、推進委員会に対策事業の進捗管理をしていること等を簡潔に説明）

※ほっともやみらいと、無料塾など、具体的な取組みも紹介

<第2部>子どもの貧困についてのパネルディスカッション（60分）：具体例でイメージを深める

《パネラー》5名

- | | |
|--------------|---------------------|
| ・東京都立大学 講師 | 小田川 華子 氏 |
| ・日野すみれ塾代表 | 仁藤 夏子 氏 |
| ・c-plant 副代表 | 宮川 友吾 |
| ・民生委員代表 | 高橋 さゆり |
| ・市役所職員 | 地下 有可里（ファシリテーター兼ねる） |

【テーマ】※全3テーマ。各テーマ20分ずつ。

①子どもたちが発する夏休みのSOSについて

～具体的な事例とともに夏休みの見守りの在り方を考える～

(具体的な討論イメージ)

- ・もうすぐ夏休みがくるが、夏休みは学校が休みとなり、『子どもたちの見守り』が薄くなる時期でもある。実際に、家庭環境により家に居場所がないなど、『夏休みが苦痛、しんどい』といった状況に陥る子どもたちもいることが考えられる。
- ・長期休暇で「家庭」にいる時間が増える子どもたちの出すSOSサインや声掛けの仕方などを、具体的な事例含めながら考え、議論する。

②貧困家庭の親へのアプローチ・支援について

～一方通行の押し付けた支援にならないために何ができるかを考える～

(具体的な討論イメージ)

- ・子どもの貧困の根底には、少なからず「親」の存在が切っても切れないことを鑑み、経済状況や生き方・考え方等、親の状況が子どもの生活にも大きな影響を与えることを踏まえ、親への効果的なアプローチについて考える。
- ・時代の移り変わりとともに、子育ての「常識」や「価値観」は変化していく。家族の在り方も多様化する時代の中で、いかに子育て世代の親たちの支援を行うか、どういった見守りや関わり方がよいのか。

③すべての子どもが笑顔になるためには？

～関係機関における連携の視点から考える～

(具体的な討論イメージ)

- ・関係機関（市役所、無料塾、子ども食堂、ほっとも etc…）の連携をどうはかっていくか。
- ・どうしたら、子供たちが自分の将来を前向きにとらえ、希望を持てるような地域づくりが実現できるか。

【当日の様子】

第1部（市からの説明）



第2部（パネルディスカッション）



【当日の参加人数】 117名

【参加者からの反響】

- ① セーフティネットコールセンターから市の取組みについて説明をしていただき、初めて知ることもあって、今後の活動の参考になった。
- ② 市の説明だけではなく、パネルディスカッションで実際に活動している色々な立場の方から実際の活動内容や子ども達の状況を知ることができたのでよかった。
などの意見をいただいています。

【今後の展開】

民生委員・児童委員は、地域の方々の身近な相談役として相談を受け、支援を必要している場合には、行政・専門機関へつなぐ役割を担っている。昨今の地域や家庭での問題が複雑化している状況であっても、その役割を果たすことができるよう、今後も引き続き、民生委員・児童委員の活動の充実に資する学びの機会を定期的に設けていきたいと考えている。